

低光沢(りん酸亜鉛)処理

低光沢(りん酸亜鉛)処理とは、従来の溶融亜鉛めっき製品を薬液処理により、めっき表面に皮膜を形成させることによって独特の色合いとする処理方法です。

自然環境と融和を図る場合や、落ち着いた雰囲気を求められる場合等に人為的に金属光沢をなくすと共に明るさを調整することができます。



らせん階段



建物支柱



観賞植物用天井



ビル向け非常階段

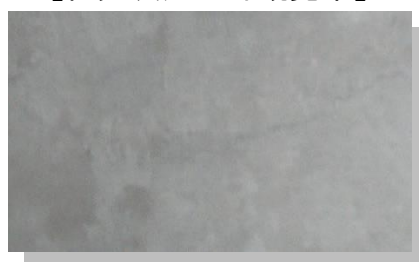
■低光沢処理のバリエーション

低光沢処理の色合いは NO.〇というマンセル記号で表されます。Nは無彩色を表し、数値は理想的な黒(真の黒)を0、理想的な白(真の白)を10として、その明るさの知覚の差が等しくなるように分割されています。低光沢処理製品は指定の明度に対して ± 1.0 の範囲の処理となります。

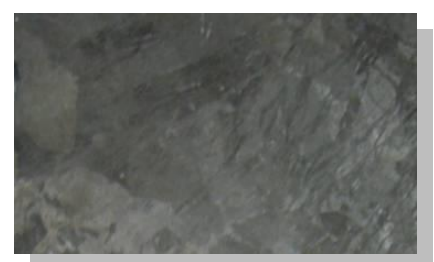
【低光沢処理外観見本】



溶融亜鉛めっき



N7.0 \pm 1.0



N4.5 \pm 1.0

■特徴

1. 東日本最大級の処理槽

柱、大梁、階段等大型の鉄骨案件にも適用できます。

2. メンテナンスフリー

塗装と比較して、退色や剥離がなく、経年後の補修の必要がありません。

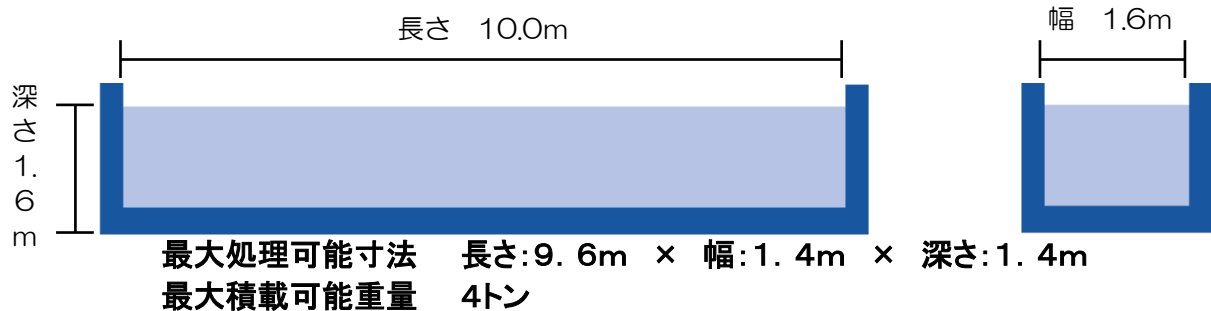
3. 意匠性を付与

溶融亜鉛めっき特有の金属光沢をなくし、落ち着いた色合いになります。自然環境と融和を図る場合や、落ち着いた雰囲気を求められる場合等に適しています。

4. 塗装下地処理

溶融亜鉛めっき製品の塗装下地処理として使用できます。

■処理槽の寸法



■工程

溶融亜鉛めっき

・前処理等の各工程を経て、溶融亜鉛めっきされます。

脱脂

・アルカリ性溶液に浸漬することで、運搬時等に付着した微細な汚れ等を除去します。

水洗い

・アルカリ性溶液を除去します。

表面調整

・りん酸亜鉛皮膜を均一かつ、すみやかに形成させるための薬液に浸漬します。

薬液処理

・着色処理液に浸漬することで、化学反応により溶融亜鉛めっき上に皮膜を形成します。

湯洗い

・着色処理液を除去し、お湯による余熱で乾燥します。

■技術情報

- 1) 低光沢処理は、緻密で微細なりん酸亜鉛結晶皮膜をめっき表面に形成させます。この微細な結晶が光を乱反射させることで光沢がなくなります。また、結晶の大きさや形状を変化させることで明るさ(明度)を調整することができます。
- 2) 低光沢処理後の耐候性は、通常の溶融亜鉛めっきと同等です。
- 3) 通常の溶融亜鉛めっき表面に皮膜を形成させるため、耐食性は通常のめっきと同等以上となります。

■お問合せ先

・担当窓口

株式会社 デンロ コーポレーション 東京支店
〒110-0005 東京都台東区上野 6-16-17(朝日生命上野昭和通ビル)
TEL:03-3831-5319 FAX:03-3831-4688
東京めっき技術営業課

・設備所在地

株式会社 デンロ コーポレーション 東北工場
〒976-0003 福島県相馬市塚部新城下 22-4
TEL:0244-36-5300 FAX:0244-36-6177